

# 119

URL: <http://www.kasuyanambu-shobo.jp/>

火災を未然に防ぎましょう

## 暖房器具を正しく使いましょ

本格的な冬の到来に備え、石油ストーブなどの暖房器具の手入れなどは万全でしょうか。

平成24年中、全国で建物火災2万5583件発生、出火原因別では石油ストーブによる火災が1508件発生しており、当本部管内では2件発生しています。

これらの主な出火原因は、「石油ストーブを点火したまま給油した際、燃料の漏洩により引火した」「ストーブの上に洗濯物を干し、それが落下した。」など、取り扱いや管理上の不注意によるものが多くなっています。

寒い時期を迎え、これからストーブなどの暖房器具を使用する機会が多くなります。火災を出さないよう、特に次の点に注意しましょう。

### 暖房器具からの火災を防ぐポイント

- 1 衣類の乾燥や可燃物の近くで使用しない！  
ストーブの上で洗濯物を乾燥すると、落下したとき、火災となるおそれがあるのでやめましょう。  
カーテンや衣類、布団などのそばで使用しないようにしましょう。
  - 2 給油時には消火を！  
石油ストーブなどに灯油を給油するときは必ず消火し、火が消えたのを確かめてから行いましょう。  
カートリッジタンクの口金は確実に締めましょう。
  - 3 スプレー缶などをストーブ、ファンヒーターの上やそばに置かない！  
スプレー缶などを温風が当たるところに放置すると、管の内圧が膨張して破裂し、爆発する危険がありますので、絶対にやめましょう。
  - 4 寝るときや外出するときは必ず火を消そう！  
寝るとき、外出するときはスイッチを切る習慣を身につけましょう。  
電気ストーブ、ファンヒーターは、長期間使用しないときには、コンセントを抜きましょう。また、ストーブを収納する際には、電池を抜きましょう。
- ▼問合せ先  
柏屋南部消防組合消防本部  
☎ 935・5111

## TOPICS

### としょかんまつり 1277人が来館

10月26日(土)から11月4日(月)まで須恵町立図書館主催「としょかんまつり」が開催され、多くの人たちが本に触れ合いました。

初日開催の「親子工作教室」では、「スライド式本立てづくり」を行いました。釘を打つことに慣れない手つきだった子どもたちは、館長や保護者からのアドバイスをもらい、立派な本立てを完成させました。

また、「おはなしリレー」では、ボランティアによる布絵本や大型絵本の読み聞かせなどがあり、子どもたちは楽しみながら耳を傾けていました。

毎年好評の「ブックリサイクル」は、開館時間前から長い列ができるほど多くの人たちが訪れ、2日間で1000冊以上の本がリサイクルされました。



## TOPICS

### 久我記念館近くに シャクナゲを植樹

11月7日(木)、須恵町自然教育林推進協議会とかすや南ライオンズクラブが共同で、久我記念館横「須恵の千年桜」付近の斜面に約30本のシャクナゲの植樹を行いました。5月～6月ごろにはシャクナゲの花は見ごろを迎えます。



## TOPICS

### 原野武廣さんに感謝状

原野武廣さんに対し、永年にわたり自衛官募集に積極的に協力し、自衛隊の充実発展に大きく貢献されていることへの感謝状が贈られました。原野さんは、本町の自衛隊父兄会会長として同会を運営され、自衛官募集に尽力されています。



## 12月

65歳を過ぎたら介護予防を始めませんか。初めての人大歓迎!!

# わくわくデイサロン

## 1月

18日(水)

陶芸 ※定員25人  
講師 光安 逸子 先生

自己負担金 500円

8日(水)

ケアピクス  
講師 林崎万里子 先生

自己負担金 300円

20日(金)

いけばな ※定員50人  
講師 南里 房子 先生

自己負担金 700円

10日(金)

笑ってリラックス  
講師 須恵レクの会

自己負担金 200円

15日(水)

季節の塗り絵  
講師 ボランティアスタッフ

自己負担金 200円

### ■申込み資格

65歳以上で町内に住所を有する人(要予約)

### ■開催日時

水・金曜日  
9:50~11:20

### ■場 所

地域活性化センター(オイコス)1階

### ■申込み・問合せ先

健康福祉課  
☎ 932-1493 (ダイヤルイン)  
☎ 932-1151 (内線126)

### ボランティア募集

詳しくは須恵町共生のまちづくり推進協議会  
担当にお問合せください。

▶問合せ先 ☎ 932-6300

## 初期消火はお任せを

10月18日(金)、第23回屋内消火栓・消火器操作大会(柏屋南部地区防災協会・柏屋南部消防本部主催)が、中部消防署で行われました。

これは各事業所の自主防災に対する意識の確立を目的に行われているものです。この大会に、糟屋中南部6町の事業所から、屋内消火栓の部と消火器の部に計40チームが参加しました。

須恵町から出場した事業所は、残念ながら優勝を果たせませんでした。どのチームも士気があふれ、節度ある操法を披露しました。



火事だ! 火事だ!

## もしもの時の頼もしい支え

11月10日(日)、須恵町消防団(山口明光団長)による模擬火災訓練が旭ヶ丘・西原区内で行われました。これは、空気が乾燥し小さな火でも大きく燃え広がるこの季節に、有事の際に備え、各分団間の連携強化などを目的に行われたものです。

この日の訓練は、旭ヶ丘区内で火災が発生したと想定。防火水槽から確保した水の中継し、放水する訓練が行われました。サイルンを合図に、9台の消防車と団員約120人が現場に到着すると、団員は迅速な行動でホースを伸長するなど、放水準備を進めました。



2つの水利から中継して放水